

令和2年 2月 朝会

みなさん おはようございます。

はじめに、最近うれしく思うことがあったので紹介します。

1つは、3学期が始まってすぐ、地域の方からうれしい連絡をいただきました。

つきみ野中学校の生徒がきちんとあいさつをしてくれ、つきみ野駅に向かう道を、きちんと左側を整列して歩いていて素晴らしいという、お褒めのお話をいただきました。この話を聞いて、とてもうれしく思いました。今後もつきみ野中学校は良い学校であり、つきみ野中学校の生徒は良い生徒と言われるような行動をとってほしいと思います。

2つめは、1月22日（水）朝、3年生の下駄箱に、図書委員の1年生が作った合格祈願しおりが置いてありました。階段の踊り場に張られたメッセージには、「私たちは、みなさん全員が合格できることを願っています。頑張ってください。」とありました。3年生を学校全体で応援している雰囲気が伝わり、まさしくつきみ野中学校の「ワン・チーム」を感じることができ、先生としては大変うれしく思いました。3年生のみなさん、体調に気をつけ、3年間培った力を思う存分発揮してください。みんなで応援しています。

さて、本日2月3日は節分です。本来、節分とは季節の節目である「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のことをいい、年に4回あります。ところが、旧暦では春から新しい年が始まったため、立春の前日の節分（2月3日頃）は、大晦日に相当する大事な日でした。そこで、立春の前日の節分が重要視され、節分といえばこの日をさすようになったそうです。昔は、季節の分かれ目、特に年の分かれ目には邪気が

入りやすいと考えられており、さまざまな邪気祓^{ばら}い行事が行われてきました。節分に行われる豆まきも、新年を迎えるための邪気祓い行事です。最近では、恵方巻を食べるようになってきました。

ちなみに、今年は西南西の方向を向いて食べるとよいそうです。

明日からは、暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。

『樹は冬に育つ』といいます。学校も多くの樹木に囲まれています。そのほとんどは、すべての葉を落としてたたずんでいます。枝だけになっても、樹は冬の間確実に成長しており、年輪を一つずつ増やしながら、地中から栄養分を蓄え、冷たい風や雪の中でじっと耐え、春に向けて確実に準備をしています。命をつなぎ、季節の巡りに沿って、しっかりと生きています。

学習でも、部活動でも、プロの選手でも同じです。4月（次のシーズン）に一段高いステージに立つために、この冬にどれだけのことに取り組み、力をつけるか・・・ということが鍵だと思います。

人と樹の違い、それは、私たち人間はたたずんでじっと耐えているだけでは力はないということです。

今できることを精一杯がんばり、4月の新しいステージに向け、力を蓄えていきましょう。

以上で終わります。